

熱ルミネッセンス

～ルーヴル美術館と医療イメージングの新材料への利用～

Thermoluminescence: a tool for old materials (in Louvre Museum, Paris)

and for new materials for medical imaging

講演者紹介

Prof. Bruno Viana

ブルーノ・ヴィアーナ教授

ブルーノ・ヴィアーナ博士はフランス国立科学研究センター局長であり、ピエール・マリー・キュリー大学パリ高等化学研究所で指導しておられます。専門はレーザー、シンチレータ、蛍光体を含むフォトニクス用の光学材料の研究。

最近では、バイオイメージングのための長残光蛍光体の応用に取り組み活躍しておられます。



日時: 2014年11月5日(水)

場所: 人環棟 333 演習室

・講演会 18:15-19:30 ・懇親会 19:40-20:40

講演内容

熱ルミネッセンスとは放射光によるエネルギーの吸収の後に、熱的な刺激によって起こる発光のことを指します。この技術は、パリのルーヴル美術館の古代の陶器の年代測定に用いられており、信頼できる検査手法として、医療イメージングや線量測定のための物質の欠陥の制御だけでなく、地学にも利用されています。

このセミナーでは古代の物質や産業化合物における多くの学問領域での応用での熱ルミネッセンスの利用について説明していただきます。

(ご講演は英語で行われます)

人間・環境学研究科の客員教授によるセミナーです。

主催 : 人環国際交流委員会

専門の異なる院生・教員の皆さんも奮ってご参加下さい。

問合せ : 国際交流委員・留学生アドバイザー

懇親会のみ参加も歓迎します。

藤田糸子(fujita.itoko.7c@kyoto-u.ac.jp)